

茨城大学工学部附属教育研究センター 公開シンポジウムのご案内

茨城大学工学部・理工学研究科では、産業界のニーズに応え、教育・研究と結びつけた地域貢献を目指して、教育・研究・地域貢献を一体的に推進するために、日立キャンパスに、平成24年に4つ、平成26年に1つの工学部附属教育研究センターを設立し、本学における教育研究の核として活動を行っています。

本学教員、学生ならびに産業界の皆様、日頃の研究成果の一端をご披露するため、昨年度より、工学部研究室訪問交流会の開催にあわせて公開シンポジウムを開催しております。今年度は、茨城産業会議の後援を獲て、下記の通り、第2回目の茨城大学工学部附属教育研究センター公開シンポジウムを開催いたします。企業の皆様・本学教職員の皆様におかれましては、是非、訪問交流会とあわせて、本シンポジウムに参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

平成27年9月1日 茨城大学工学部長 馬場充

日時：平成27年10月28日(水) 10:00～12:00

場所：茨城大学工学部 N4棟 小平記念ホール
茨城県日立市中成沢町4-12-1

参加費：無料

申込方法：添付の申込書をFAX(0294-38-5280)にて送付、
または「参加者氏名・所属・連絡先」を記載したメールを
担当 佐藤(ayumi.sato.1012@vc.ibaraki.ac.jp)宛に送付ください

申込締切：平成27年10月14日(水) 12:00

主催：茨城大学工学部

お問合せ：茨城大学工学部総務係 担当 佐藤 TEL 0294-38-5004



10:00-10:10 茨城大学工学部附属教育研究センターの近況紹介 梅比良 正弘 副工学部長

10:10-11:00 防災セキュリティ教育研究センター 成果報告
桑原 祐史 教授 (茨城大学 広域水圏環境科学教育研究センター センター長)
<生活環境圏を対象とした広域センシングに関する研究>

近年の衛星リモートセンシング技術の進歩は著しく、単に高解像度化が進むだけでなく、短波長赤外の高解像度化やコンステレーション化といった観測条件の向上が進んでいる。本講演では、既存の研究成果に対して新たな観測技術をあてはめることにより、確実に見えてくるであろう、将来のデータ処理の実用化について紹介する。

齋藤 修 特命教授

<UAV利用による茨城県生活環境圏の環境と防災>

近年、小型UAVは高性能化が進み、海岸の浸食状況などを手軽に上空監視ができるツールとして注目されている。しかし、市販のUAVを安全に運用する方法はこれからの課題である。本講演では、安全な運用の課題や映像の撮影方法、搭載するセンサー等の問題を解決して地盤環境把握や構造物の長寿命化への対応について述べる。

11:00-11:50 グリーンデバイス教育研究センター 成果報告

小峰 啓史 准教授 (メディア通信工学科)

<高省電力情報機器のための磁気デバイス>

新規大容量不揮発性メモリは、高度情報化社会を支えるコンピュータの高速動作、省電力動作の観点から期待されている。本講演では、磁化を電流で直接制御する磁壁移動型ナノワイヤメモリの研究開発を紹介する。磁性材料の選定および構造上の工夫により駆動電流の低減、高密度ビット記録が出来ることを述べ、さらなる高速動作の可能性について紹介する。

篠嶋 妥 教授 (マテリアル工学科)

<計算機支援による新材料探索>

材料設計は今やナノオーダーで組織制御を行う段階に達している。計算機実験は、望ましい組織を得るための実験条件を予め絞り込むことができ、新材料の設計開発への大きな貢献が期待できる。本講演では、計算機実験の手法を説明し、熱電材料開発のために行った、Cuを添加したSi/Geアモルファス多層膜、およびMg₂Si合金の析出過程に関する計算機実験等を紹介する。

茨城大学工学部付属教育研究センター 公開シンポジウム 参加申込書

平成27年10月28日(水) 10:00～

於 茨城大学工学部N4棟小平記念ホール

申込締切:平成27年10月14日(水) 12:00まで

参加者氏名:

参加者所属:

ご連絡先 :TEL

FAX

送付先 FAX番号: 0294-38-5280 担当:佐藤

ご不明な点がございましたら、0294-38-5004まで

お問い合わせください。